



2011春闘勝利!

国労仙台総行動行われる!!

2011.3.5
3月5日

3月5日(土)、仙台市勾当台公園にて国労仙台地方本部主催の国労総行動が開催されました。この行動は、仙台地本が各支部・分会から事務局を選出し議論を重ね準備を行ってきました。春闘時の地本としての取り組みとして定着し、今集会には仙台地方本部内から約三〇〇名が参加(支部は七〇名)し、二〇一一年春闘勝利、JR不採用問題の解決等を街頭で訴えました。主催者を代表し橋本委員長は、挨拶の中で春闘情勢にふれながら「長年続いた国労への攻撃により大きな打撃を受けてきたが、差別に屈することなく闘い続けた先輩の皆さんが、私たちに国労という素晴らしい組織と運動を残してくれた。今貴重な財産を、次の世代に引き継ぐ、そして発展させることが私たちの任務であり使命である。一括和解以降88名、東日本定期大会以降5名の拡大しているが、仙台地本内では、昨年1月1日付の東北自動車支部の拡大以降とされている。各支部・分会の皆さんが様々な創意工夫をこらして取り組んでいることには心から敬意と感謝を申し上げる。その上でもう一步踏み出そう。地方本部は2月5日に組織対策会議を開催し、各支部、分会の取り組みを点検し、一歩前に踏み出す意思統一をしたが、その実践を4月に入る新入社員の獲得、更には職場で二緒に働いている他労組の仲間の加入で実感しよう。今日まで、国労の若い人たちは自分で組合を選択している。私たちは、一歩踏み出せないでいる人たちに踏み出す勇気やきつ

かけを仲間として作ってあげよう」

また、エルダー制度の問題については「本来であれば、昨年11月に再雇用先の提示が行われ、2月には雇用契約が結ばれていなければならぬ。これは、会社で作った制度にも関わらず、本日になっても提示がされていない。連日議論してきた結果、3月7日から提示をすることに決まったが、まだ数人が決まっていけないとの話も聞いている。しかし、来月の末には退職の方もある。このことを問題として会社と話をしているのは国労だからこそ。しかし、何と云っても許されないのは、会社の姿勢。自ら作った制度が守れなくても平然としている。このようなことをしっかりと職場で話をし、国労の信頼を勝ち取り、組織拡大に結びつけていこう」と訴えました。

この集会には、政労、共闘等、多くの来賓が駆け付けていただきました。また国労本部・鈴木執行委員からJR不採用問題をはじめとした春闘情勢の報告がありました。

行動は、集会開催前にチラシ配布が行われ、集会ではD51合唱団からの歌声、各支部・分会代表の決意表明が行われました。また、支部として、苦しい闘いを強いられいている貨物の仲間、支部春闘総決起集会で取り組んだ撤布を手渡しました。また、最後に橋本委員長の団結ガンバローを打ち上げ、デモ行進を行いました。

行動の一ページ



街頭ちらし行動での辻報告



国労です!



座り込み行動。



支部並びに各分会代表挨拶



横断幕を掲げ



貨物の仲間に檄布を贈呈



一番町でのデモ行進



シュプレヒコールに気持ちを込めて